

阿南工業高校・新野高校の再編統合に係る報告書(抜粋)

平成22年3月

新しい学校づくり阿南市地域協議会

目次

I はじめに	1
II 協議結果	2
1 新しい学校の教育内容について	2
2 設置場所について	4
III 再編統合に関する提言	5
IV おわりに	6

資料阿南市地域の中学3年生の生徒数の推移・・・省略

## I はじめに

徳島県教育委員会は、外部有識者などからなる高校教育改革再編検討委員会の全県的な高校再編のあり方に「ついて」の最終報告を受け、平成18年3月に「高校再編方針」を策定した。

この方針では、今後の生徒数の減少などを踏まえ、県下の7地域において再編を進めることとし、阿南市地域においては、阿南工業高校と新野高校の教育を基本に再編を行い、特色ある学校づくりを進めていくこととしている。

平成18年10月、徳島県教育委員会から本協議会に対し、「高校再編方針」に基づき、阿南工業高校と新野高校を再編統合した新しい学校の教育のあり方等について検討し、その結果を取りまとめ、報告するよう依頼があった。

本協議会では、将来の阿南市地域の高校教育のあり方を考えたとき、両校の再編統合は必要であるとの共通認識に立ち、両校が培ってきた教育やそれを支えてきた地域の方々の思いにも配慮しながら、新しい学校づくりについて、慎重に協議を重ねてきた。

また、今後の生徒数の推移や、「高校再編方針」策定後の周辺高校の変化など、阿南市地域特有の状況も踏まえ、これからの再編統合の進め方などについても、提言することとした。

ここに、本協議会として「阿南工業高校・新野高校の再編統合に係る報告書」を取りまとめたので報告する。

## II 協議結果

新しい学校の教育内容等については、阿南工業高校と新野高校の両校がこれまで培ってきた工業教育、総合学科教育を継承するとともに、「ものづくり」を重視した教育や、総合学科に設置する系列の再編・充実などを行い、工業科・総合学科併設のメリットを活かした特色ある教育を展開するため、次のように取りまとめた。

### 1 新しい学校の教育内容について

#### (1) 教育の基本方針

##### ① 目指す学校像

ア 生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校

イ 国際化、情報化など時代の変化や多様な生徒の進路に対応できる学校

ウ 望ましい職業観、勤労観を育成する学校

エ 豊かな人間性をはぐくむ学校

オ 地域に開かれ、地域に貢献できる学校

##### ② 育てたい生徒像

ア 自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動できる心身ともにたくましい生徒

イ 国際化・情報化社会に対応できるコミュニケーション能力や情報活用能力を身につけた生徒

ウ インターンシップなどを通して、望ましい職業観、勤労観や社会規範を身につけた生徒

- エ 互いの人権や自他の生命を尊重し、支え合う仲間づくりに努める生徒
- オ 地域の一員として、ボランティア活動などにも進んで取り組める生徒

### (3) 各学科の教育内容

#### ① 工業科

##### 機械科制御システムコース

各種制御に関する知識や技術を習得するとともに、電子機器やロボティクスコース ボット工学などのメカトロニクス分野の技術を身につけ、機械制御分野で活躍できる技術者を目指す。

##### 機械科ものづくりコース

「ものづくり」の基礎基本を身につけ、インターンシップなどを通して実践的な技術を磨くことにより、ものづくり分野で幅広く活躍できる機械技能分野のスペシャリストを目指す。

##### 電気科

電力・通信・制御に関する知識や技術を習得するとともに、実践的な技術を磨き、生活に欠かせない電気分野で幅広く活躍できる技術者を目指す。

##### 建設科

土木に関する知識や技術を習得する。さらに、建築について学べる科目を選択することで、住まいから都市計画まで社会基盤の整備に関する分野で幅広く活躍できる技術者を目指す。

#### ② 総合学科

##### 人文芸術系列

国語や外国語など人文科学の内容を中心に学ぶことを通して、読解力や表現力、コミュニケーション能力など、国際社会で活躍できる能力と態度を身につける。また、芸術の学習を通して、鑑賞能力や感性、創造的な表現力を高める。

##### 自然科学系列

数学や理科など自然科学の内容を中心に学び、自然科学分野の基礎学力を身につけるとともに、実験や観察などを通して、事象を科学的に考察し、処理する能力と態度を身につける。

##### 情報ビジネス系列

情報と商業の専門科目を融合して学ぶことを通して、情報収集・発信能力やビジネス力など、デジタル化、ネットワーク化された情報社会に対応できる能力と態度を身につける。

##### 生物資源活用系列

農業の基礎やバイオテクノロジー等の技術を学ぶことを通して、生産性を高める栽培方法や環境にやさしい農業について研究するなど、生物資源を有効に活用できる能力と態度を身につける。

### (4) 特色ある教育について

① 生徒の能力・適性、興味・関心や就職から進学まで多様な進路希望に対応するため、工業科・総合学科併設のメリットを活かして、学科の枠を越えた科目選択ができる総合選択制を導入する。

② 「ものづくり」のすばらしさを体験し、問題を発見し解決する能力や自分の考えを的確に表現する力を身につけるため、例えばLEDに代表される地域の素材や地域の技術力・教育力を活かし、農業、工業、芸術などにおける「ものづくり」を推進する。

- ③ 望ましい職業観、勤労観や社会人として必要な能力や態度を育てるため、地元企業や地域社会、NPOとの連携を深め、インターンシップなど校外における体験的、実践的な学習を積極的に取り入れる。
- ④ 人とのかかわりの少なさや生活体験の不足などを補い、思いやりの心をもつ次世代の担い手を育成するため、自らを成長させ、地域に貢献できるボランティア活動や社会体験活動を推進する。

## 2 設置場所について

本協議会として、新しい学校の設置場所を提案すべく、現在の校地を前提に両校の現状や必要な教育施設の確保、交通の利便性、地域バランスなど、設置場所の決定にあたって考慮すべき諸要素に配慮しながら、総合的に検討を行った。

数回にわたる協議会での検討の中で、阿南工業高校、新野高校いずれの校地に新しい高校を設置するかについて、新たな校地も含めて様々な意見が出されたが、結果として、委員間で合意に達せず、本協議会として提案するまでには至らなかった。

## Ⅲ 再編統合に関する提言

本協議会においては、両校の再編統合を協議するにあたって、将来の阿南市地域全体の高校教育のあり方や、今後の生徒数の推移、地域の高校の状況変化などについても検討を行った。

その結果、これからの再編統合の進め方等について、本協議会として次のとおり意見を集約したので、提言する。

まず、将来の阿南市地域全体の高校教育のあり方については、普通科教育は富岡西高校と富岡東高校の両校が担うこととし、阿南工業高校と新野高校を再編統合した新高校においては、できれば本協議会が上記Ⅱで提案した内容にとどまらず、一層幅広く魅力のある教育内容を備えた「総合型専門高校」として職業教育等を担うことにより、地域全体で進学にも就職にもしっかりと対応できる体制を構築し、地域の子どもたちの期待に応えるべきであると考えている。

阿南市地域の再編統合にあたっては、現状をもとに拙速に行うのではなく、より地域が望む「総合型専門高校」となるよう、今後、生徒数の推移、新たな学科・制度の導入等による地域の高校の状況変化や子どもたちの進学動向への影響などについて十分に見極めた上で、「高校再編方針」を踏まえた適切な時期に、設置場所などを含む再編統合計画を策定し、進めていくべきであると考えている。

また、これまでの本協議会の協議結果を踏まえ、再編統合計画の策定までの間においても、例えば、阿南工業高校では専門性の高い工業教育を行うための学科再編の検討、新野高校では設置する3系列の充実や本協議会で提示された新たな4系列の調査研究などを行い、両校の教育の充実・活性化のために必要と考えられる取組については、先行して行うよう要望する。

## Ⅳ おわりに

省略